

し、遂に十一月十三日の年次大會に於て綱領主張を改むるに至つたのであるが、未だ刷新派の満足するところ非らざるを以つて今後の動向は相當注目に値するものがある。

0、一般的情勢

昭和七年末現在縣下労働組合数は五十餘團體（別表参照）にして、其の組合員数は約二萬三千人に達し本縣労働者總數二十五萬人の約一割に近しと雖も、之を前年末に比較する時は組合數に於ては増加を見たが組合員數に於ては幾分の減少を示し所謂組合の苦悶時代たるを如實に表してゐる而して之が組織の産業別分布の状態を見れば、金屬、化學各工業を始めとし交通運輸關係に出版印刷業に建築關係に或は嶺山等に至る各種重要産業に亘りて産業別組織への發展過程を辿りつゝあることはもとより、失業救済事業從事労働者が漸次團結し、且つ其の多くは左翼指導者に依り組

織指導するゝの傾向あるは最も注目せらるゝところである。尙亦所謂客觀的情勢と中央の影響を受け右翼團體の種健化は、中間派たる淺原健三一派の最近に於ける内部の不統一勢力の失墜と極左派の組織活動の微力とは相俟つて舊社民系組合をして全盛を極めしめてゐるのである。

2、縣下労働組合一覽

（別表の連）